

島谷ひろのり

しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身：青森県八戸市
- 生年月日：昭和 55 年 2 月 13 日
- 学歴：八戸工業高等専門学校（電気工学科）卒業
- 家族：妻と長女・次女の 4 人家族
- 現住所：日野市旭が丘 2 丁目
- 趣味：バレーボール、ランニング、山登り

みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和3年第4回日野市議会定例会が11月19日から12月8日まで開催され、市長より提出された議案、補正予算などの審議、一般質問は23名の議員が行うなど、活発な議論が交わされました。

本定例会で審議された内容や、一般質問で島谷ひろのりが議題とした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

また、1期4年間で『島谷ひろのり』が議会で取り上げた市民目線での課題、進捗も含め記載いたしましたので、改めてのご報告となります。

■ 令和3年第4回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
<http://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1018517.html> 日野市HP ページID 1018517



I. 旧日野市立たかた保育園の機能移転に伴う一連の疑惑に関する第三者実態調査委員会報告について

議会初日に市長より、「大坪市政における地方公務員法違反疑惑及び旧日野市立たかた保育園の機能移転に伴う一連の疑惑に関する第三者委員会報告書」の受け止め、今後の再発防止に向けた決意を含めた報告があり、多くの議員から、第三者委員会からの報告に対する日野市の姿勢など確認する質疑がなされました。

■ 疑惑に関する第三者委員会報告書について、詳細は日野市議会HPにアップされております
<https://www.city.hino.lg.jp/shisei/gyozaisei/1017459/1018511.html> 日野市HP ページID 1018511



第三者実態調査委員会からの報告で、「違法性が認められる客観的事実」は無いと報告されたものの、行政手続き上における「不備・不適切」箇所を多く指摘がされました。

私からは、「指摘を受けた多くの不適切な手続きや業務結果に再発防止を図っていく中で、上層部から再発防止策のみが落とされるようなことは、あってはならない。」

「再発防止に至った事故の要因を職員全体で共有し、若手からも納得感を得られる歯止め内容にブラッシュアップさせる」旨、意見しました。真面目に取り組んできた方々が委縮することのないよう、風通しの良い風土づくりに向け、今後、市から提示される再発防止策を見極めます。



島谷 広則 議員

II. 新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）について（11月30日時点）

追加接種（3回目接種）に関する情報をお知らせします。なお、今後、変更となる可能性もありますこと、予めご容赦願います。

【対象者】 2回目接種を完了した18歳以上の方のうち、**2回目接種から8カ月以上経過した方**

(※)接種間隔については、初回接種(1回目・2回目接種)の完了から原則8カ月以上とすること。

令和3年11月16日付 厚生労働省健康局健康課予防接種室 事務連絡に基づきます。

■ 新型コロナウイルス感染症についてのお知らせ 日野市HPはこちら(ワクチン情報など含む)
<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/annzen/covid-19/index.html> 日野市HP ページID 1013708



2回目接種を完了した月	追加接種(3回目接種)が可能となる月	クーポン券の発送時期
令和3年4月以前	令和3年12月	令和3年11月19日(金曜日)
令和3年5月	令和4年1月	令和3年12月中
令和3年6月	令和4年2月	令和4年1月中
令和3年7月	令和4年3月	令和4年2月中
令和3年8月以降	2回目接種を完了した月の8カ月後	追加接種(3回目接種)が可能となる月の前月中

Ⅲ. 島谷ひろのり 1期4年間の議会活動（一部を抜粋）

『島谷ひろのり』1期4年間における議会での発言を振り返ります。市民の皆さまとともに、生活者目線での課題提起をしております。まだまだ形に見えない部分もございますが、着実に、少しずつ前進してきている施策もございます。改めて、生活における現状の課題と共有を図るべく、報告させていただきます。

平成30年度（2018年度）	
<p>■ 市民参加型「安心・安全のまち」について (3月議会より抜粋)</p> <p>市民の皆さまが日々危険と感じる道路や通学路の安全確保要望、公共物の破損や改修について、デジタル施策を活用し、進捗状況も含め、見える化を!!</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>道路情報投稿アプリ（市民要望投稿システム）導入について、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第2次）」の補助対象事業で、令和4年の運用（予定）で準備中。</p>
<p>■ 全ての子どもたちに切れ目のない支援を!! (9月議会より抜粋)</p> <p>(仮称)日野市子ども包括支援センターの基本構想策定を着手(平成30年当時)するにあたり、妊娠期から子育て期、そして子どもたちが社会で自立するサポートを含めた「切れ目のない支援」について、市の姿勢、課題を問う。</p>	<p>◇ 日野市ホームページより抜粋</p> <p>(仮称) 子ども包括支援センター基本方針・基本計画 (令和元年6月策定)</p> <p>この計画により健康課母子保健部門と子ども家庭支援センターが統合し、全ての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点が整備中。</p>
<p>■ 住宅セーフティネット事業の現状と課題 (12月議会より抜粋)</p> <p>『あんしん住まいる日野』事業について、高齢者福祉、生活困窮、児童養護、外国人など幅広い視点で周知・改善を求める。また、高齢者を受け入れる民間賃貸物件を含め、拡充させるための整備を求む。</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>ハロライトの見守りの補助金創設（令和2年10月開始）</p> <p>孤独死防止、ご家族の「あんしん」、孤独死に対する不動産関係の方への配慮も目的とし、単身高齢者の方を対象に、民間賃貸住宅を管理する不動産業者や家主に対する補助金を開始。一定時間電気がつかないなど、登録してある連絡先に事業者から通報する仕組み。</p>
令和元年度（2019年度）	
<p>■ 日野市介護予防・日常生活支援事業(総合事業) (6月議会より抜粋)</p> <p>「生活援助型」の区分は、他自治体と比較した際の日野市ならではの特徴。介護資格を持たない方でも、家事支援を中心に行うサービスを提供できる枠組みだが、現状利用実績が伸びていない現状の課題の整理と改善を求む。</p>	<p>◇ 日野市（令和3年12月議会答弁より抜粋）</p> <p>令和4年度以降においては、日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業にて生活支援活動の促進を図るため、地域の多様な主体が実施する生活支援サービスB型を開始する予定。全市で高齢者の生活支援活動が展開できるように図っていく。</p>
<p>■ 若年層「消費者保護」の取り組みについて (6月議会より抜粋)</p> <p>成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる民法改正が2022年4月1日に施行予定。若年層の消費者被害の傾向や、消費環境も時代と共に変化中、小中学生を含む18歳になる前段階で、効果的な注意喚起を!!</p>	<p>◇ 日野市（令和元年6月議会答弁より抜粋）</p> <p>日野市においても、啓発用パンフレットの配布や、各学校からの依頼に応じた出張学習会を実施。</p> <p>今後は若者が地域の一人として活動することを支援し、早い段階で社会との関わり、金銭感覚、他者との付き合い方や思いやり等、社会経験を積むことを促したい。</p>
<p>■ 台風災害を今後の取り組みに活かそう (12月議会より抜粋)</p> <p>現状の洪水ハザードマップとの比較検証について、内水氾濫想定含めた精度の向上を!!</p> <p>車での一時的な避難について、民間企業の立体駐車場を「車避難先」として活用できるよう災害協定締結の検討を求む。</p>	<p>◇ 日野市（令和3年12月議会答弁より抜粋）</p> <p>令和3年5月10日に流域治水関連法が改正されたことも相まって、内水ハザードマップを製作予定。</p> <p>民間企業と、一時的な車での避難者受け入れを想定した立体駐車場借用等、災害協定を2社と締結済み。</p>

令和2年度（2020年度）	
<p>■ 日野市ICT教育「GIGAスクール構想」について (3月議会より抜粋)</p> <p>デジタル 子ども</p>  <p>新型コロナによる影響が表面化する以前に、「GIGAスクール構想」の着手を提案。日野市として財政非常事態宣言を発令した中でも国の補助金を有効に活用し、採用することを求む。</p>	<p>◇ 日野市ホームページより抜粋</p> <p>未来を創る力を育む 日野市GIGAスクール構想</p> <p>令和3年4月に、小学2年生以上の児童・生徒約1万2千人に1人1台の学習用端末を教室に配置。</p> <p>一人ひとりに最もふさわしい教育の実現を図る。また、不登校の子どもたちの学びにもこの端末を活用していく。</p>
<p>■ 情報発信機能強化とデジタル化施策の補強を!! (6月議会より抜粋)</p> <p>デジタル まちづくり</p> <p>コロナ禍で紙媒体だけの情報発信しか手段がないことで、「日野市が情報弱者を生み出した!!」との反省のもとに、LINEによる情報発信など、デジタル連絡網の整備に着手を求む。</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>日野市公式LINEを活用し、令和2年9月からLINEによる情報発信を開始。</p> <p>学校-保護者間においてもICTツールを採用。連絡網を整備。（令和3年度より運用を開始）</p>
<p>■ 職員提案・業務改善制度の推進について (12月議会より抜粋)</p> <p>組織風土改善</p> <p>職員提案・業務改善制度より、目標「毎年1件」、平成29年度、平成30年度ともに「実績0件」という結果を受け、職員一人一人の頑張りを評価してこなかったと、上司としての姿勢から反省いただき、風通しの良い組織風土に改善いただきたい。</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>「働き方改革PT」から発生した取り組みとして、業務効率化や業務の悩み事、豆知識等を提案・共有する仕組み「Hinoo！知恵袋」を、本年7月から庁内情報共有システム上で「掲示板形式」で開始。</p> <p>企業内での取り組み（小集団活動）なども参考にしながら、今後に向けても改善を図っていく。</p>
令和3年度（2021年度）	
<p>■ 広報戦略ビジョンを策定せよ!! (3月議会より抜粋)</p> <p>デジタル まちづくり</p> <p>デジタル・トランスフォーメーション(通称:DX)を進める上で、日野市の「戦略(ビジョン)」が重要。</p> <p>「広報」は正に全施策に共通する分野であり、全市民共通、世代や障害、性別、文化など、DXによる将来ビジョン策定に向けた日野市の今後は？</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>令和3年4月から、今後のDXを見据えた「広報政策室・情報政策室」組織改編に着手</p> <p>「伝える広報」から「伝わる広報へ」を目標に、リアルタイムに更新可能なデジタルサイネージの採用、また多言語化の充実もICT活用で進める予定。</p>
<p>■ コロナ禍の居場所づくり、孤独・孤立対策 (6月議会より抜粋)</p> <p>地域力向上 生活困窮</p>  <p>国の「緊急事態宣言」によって施設が使えない期間が長期化している中、「子ども宅食」などを支援するために調理室利用制限の緩和を求む!!</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>コロナ禍での公共施設の柔軟な運用について、福祉部門と施設管理部門による検討。</p>  <p>一般質問の翌日から、調理室利用の緩和！！</p>
<p>■ 学校現場での情報モラル教育を充実せよ!! (9月議会より抜粋)</p> <p>デジタル 子ども</p> <p>学校現場における「ネットトラブル」について、普段の生活の中で既にスマートフォンを利用する子ども達が増加傾向にある中、基礎教育として「情報モラル教育」の充実を図る必要がある。</p>  <p>また、児童生徒だけでなく保護者と一緒に学び合う環境が大切だと考えるが、日野市の取り組みは？</p>	<p>◇ 日野市（議会答弁より抜粋）</p> <p>情報モラルに関わる内容は、特別活動、学級活動の時間に扱う。児童生徒と一緒に「SNS学校ルール」づくりを進め見直すなど、行っていく。</p>  <p>情報モラルを含むSNSに関わるルールについては、講演会に保護者も参加いただき、家庭が情報モラルについて同じ意識をもつことに期待。</p>

〔1〕「伝わる広報」への転換について、日野市の考えを問う

「広報戦略室」や「情報戦略室」として庁内体制の改編も進む中で、これまでの「広報ひのり」や「日野市公式 Line」、「動画配信」など、**広報機能**と、新たなデジタル施策として加わる**広聴機能**について、日野市の描くデジタル施策の柔軟性・連動性も含めた今後の展望を質しました。



●島谷ひろのり議員⇒ 行政の「縦割り意識」を打破しなければ、「広報・広聴機能」で最大限の効果が発揮されない。施策全体の連動性をチェックし、すべての部門に横ぐしを指せる権限を持って統制できる立場の方が、自治体運営の目指すべき姿、今の日野市に必要なではないか？

◆日野市 広報活動の目的は、広報誌やホームページへの情報掲載や、通知の発送でなく、広報を受けた市民の要望の実現や不満の解消など、行動変容が目的。すべての職員が「広報」「広聴」担当であるとの意識改革も必要と認識している。令和3年4月の組織改正で、広報政策担当参事が着任し、各課の広報力をアップ、市民満足度を上げることができるよう努めていく。

●島谷ひろのり議員⇒ デジタル施策は、業務品質の向上や利便性を高める期待もあるが、真の目的は「人と人をつなぐ」こと。市民との「双方向で対話」という視点を、これまで以上に大切にいただきたい。業務における「役割と責任」は、縦割りでも良いが、課題や問題に「縦割り」はないことに重点を置いて、施策を進めていただきたい。

〔2〕 孤独感を抱く高齢者ゼロへ！日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業について、問う

これまでの「顔と顔を合わせる」取り組みは、継承し発展していかなければならないとの観点で、「日野市高齢者見守り支援ネットワーク事業」の現状と課題について、日野市の今後の方向性を質しました。

●島谷ひろのり議員⇒ 社会全体で高齢化が進む中で、**見守りを希望する高齢者数が減ったこと、及び見守り推進員新規増加の登録者が0名**であった結果に対する日野市の評価は？



◆日野市 コロナ拡大の時期に外出を控え、運動や交流が減ったことにより、身体・認知機能が低下する方が多く見られた。また、見守り希望者と推進員の希望者を訪問し登録を促す声掛け等の活動を、コロナ禍のなか積極的にできなかった。

現在、見守り支援ネットワーク検討部会において、今後の見守りの在り方や事業の周知方法について検討している。

●島谷ひろのり議員⇒ 顔と顔が見える関係性は、「民生委員や見守り推進員」の献身的な活動があってこそ成り立っている。民生委員及び見守り推進員の方々がもっと活動しやすくなるサポートや、活動に対する理解者を増やしていく取り組みについて、日野市としての今後の展開は？

◆日野市 地域で活動する人材を確保し、人が人を支える関係性を構築するためにも、民生委員、見守り推進員が単独で活動するのではなく、自治会や老人会などの連携を支援していく。コロナ禍では、こうした地域のつながりの重要性が改めて浮き彫りになった。活力のあるコミュニティの継続のための取組を、全庁あげて継続していく。

■ 一般質問の録画中継は日野市役所 HP で視聴できます。
<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

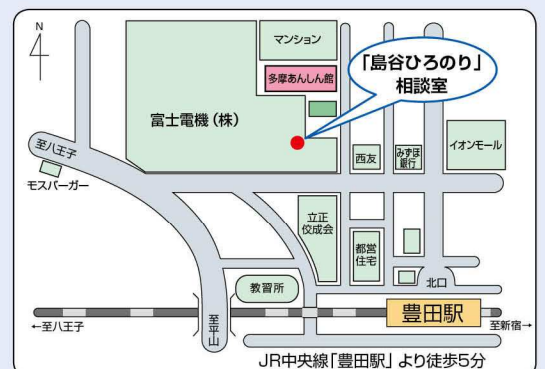
TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

HPとフェイスブックより活動内容をご覧ください。



お友達登録をお願いします！



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133